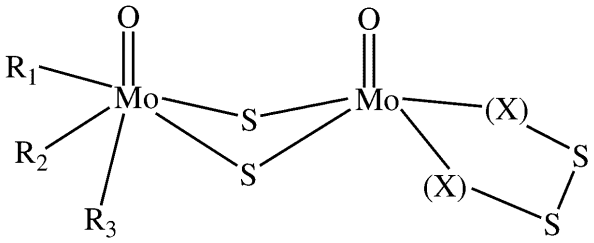
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

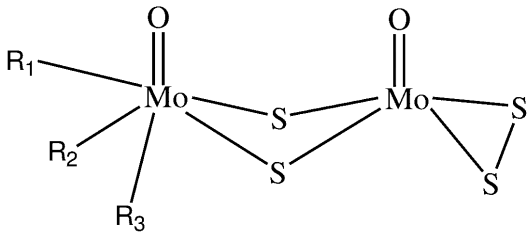
【公表番号】特表2016-533333(P2016-533333A)
【公表日】平成28年10月27日(2016.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2016-061
【出願番号】特願2016-517308(P2016-517308)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｆ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/20　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　39/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｆ　11/00　ＣＳＰＢ
Ａ６１Ｋ　33/20
Ａ６１Ｐ　39/02
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　33/04

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月22日(2017.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式：
【化１】

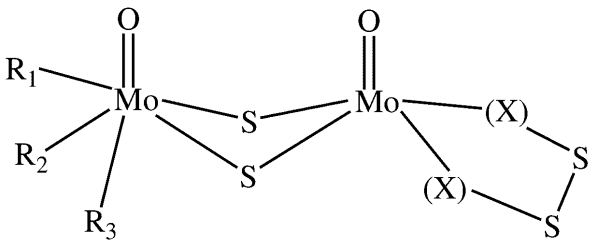


（式中、
ＸはＳまたは結合であり；
R_1、R_2およびR_3は独立してまたは共通して、炭素数３～１２の単糖または二糖、Ｏ、Ｓ、CH_3S－またはＮで置換されていてもよい炭素数１～５のモノカルボン酸またはジカルボン酸、炭素数１～５のチオカルボン酸、窒素に結合している側鎖が炭素数１～５のアルキルである炭素数１～５の第一級、第二級または第三級アミド、スレオニン、セリン、グルタミン酸塩、リンゴ酸塩、シュウ酸塩、メルカプトコハク酸塩、シアン化物、チオシアン酸塩、チオ硫酸塩、および亜硫酸塩からなる群から選択される１つまたは複数の

リガンドであり、
R_3は電子対であってもよい）の化合物。
【請求項２】
Ｘが結合であることを特徴とする、請求項１に記載の化合物。
【請求項３】
下記式：
【化２】



（式中、R_1、R_2およびR_3は独立してまたは共通して、スレオニン、セリン、グルタミン酸塩、リンゴ酸塩、シュウ酸塩、メルカプトコハク酸塩、シアン化物、チオシアン酸塩、チオ硫酸塩、および亜硫酸塩からなる群から選択される１つまたは複数のリガンドである）であることを特徴とする、請求項１に記載の化合物。
【請求項４】
リガンドがスレオニンであることを特徴とする、請求項３に記載の化合物。
【請求項５】
化合物が薬学的に許容される塩の形態であることを特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載の化合物。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか一項に記載の化合物を含有することを特徴とする薬学組成物。
【請求項７】
哺乳動物におけるシアン化物中毒の治療方法であって、請求項１～６のいずれか一項で定義される化合物の治療有効量を投与することを含む方法。
【請求項８】
哺乳動物がヒトであることを特徴とする、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
下記式：
【化３】



（式中、
ＸはＳまたは結合であり；
R_1、R_2およびR_3は独立してまたは共通して、炭素数３～１２の単糖または二糖、Ｏ、Ｓ、CH_3S－またはＮで置換されていてもよい炭素数１～５のモノカルボン酸またはジカルボン酸、炭素数１～５のチオカルボン酸、窒素に結合している側鎖が炭素数１～５のアルキルである炭素数１～５の第一級、第二級または第三級アミド、スレオニン、セリン、グルタミン酸塩、リンゴ酸塩、シュウ酸塩、メルカプトコハク酸塩、シアン化物、チオシアン酸塩、チオ硫酸塩、および亜硫酸塩からなる群から選択される１つまたは複数の

リガンドであり、
R_3は電子対であってもよい）の化合物を含有することを特徴とする薬学組成物。
【請求項１０】
Ｘが結合であることを特徴とする、請求項９に記載の組成物。
【請求項１１】
R_1、R_2およびR_3は共通して、スレオニン、セリン、グルタミン酸塩、リンゴ酸塩、シュウ酸塩、メルカプトコハク酸塩、シアン化物、チオシアン酸塩、チオ硫酸塩、および亜硫酸塩からなる群から選択される１つのリガンドであることを特徴とする、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１２】
リガンドがスレオニンであることを特徴とする、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１３】
化合物が薬学的に許容される塩の形態であることを特徴とする、請求項９～１２のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１４】
化合物が、ナトリウム、カリウム、R_4N（Ｒは水素）、グルコサミン、エタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン（ＴＥＡ）、トロメタミン（ＴＲＩＳ）、およびＮ－メチルアミノエタノールからなる群から選択されるカチオンを有する塩の形態であることを特徴とする、請求項１３に記載の組成物。
【請求項１５】
さらに硫黄源を含有することを特徴とする、請求項９～１４のいずれか一項に記載の組成物。
【請求項１６】
硫黄源が、硫黄、チオ硫酸塩、硫化アンモニウム、ジチオスレイトール（ＤＴＴ）、トリチオスレイトール、グルタチオン、およびジベンジルトリスルフィド（ＤＴＳ）からなる群から選択されることを特徴とする、請求項１５に記載の組成物。
【請求項１７】
硫黄源が、チオ硫酸ナトリウムおよびチオ硫酸カリウムからなる群から選択される塩であることを特徴とする、請求項１６に記載の組成物。
【請求項１８】
哺乳動物におけるシアン化物中毒の治療方法であって、請求項１～９のいずれか一項で定義される化合物、または請求項９～１７のいずれか一項で定義される組成物の治療有効量を投与することを含む方法。
【請求項１９】
哺乳動物がヒトであることを特徴とする、請求項１８に記載の方法。